

鳳源寺

三次藩祖 浅野長治公菩提寺



第18号

昭和53年2月28日

発行人

野村節也

編集人

田中恭生

印刷所

広島県双三郡吉舎町

佐々木印刷株式会社

最近の 糖尿病の話題

糖尿病の臨床、とくに治療において、最近
話題になったものをあげたい。

一、経口血糖降下剤 による低血糖

一九五五年、スルホニル尿素剤
発売以来、多数の低血糖症の発生
をみている。最近、医療レベルの
向上とともに、この低血糖が注目

されるようになり、その頻度調査
が行われるに至った。わが国のあ
る調査をもとに計算すると、わが
国だけで年間二、〇〇〇名の経口
剤による低血糖昏睡をみる。また
他の調査によると、この重症低血
糖の一〇%が死亡、一〇%が後遺
症を残すということである。
有効な薬はその適応・使用法に
一層の注意が必要であることを示
すもので、低血糖が起るからと
いう理由で、経口血糖降下剤の使
用を棄ててはならない。

二、経口血糖降下剤 とくにビグアナ イド剤による乳 酸アシドーシス

ビグアナイド剤の一つであるフ
エンホルミンは一九五七年に発売
された。発売当初から本剤による
重症アシドーシスが注目されたが、
当時は使用法の誤りとされていた。
一九六二年に至り、これが乳酸ア
シドーシスによるものと判明した
が、なお、その後十年間の使用が
続いた。しかし、この乳酸アシド
ーシスの発生が年間一、〇〇〇名
当り〇・二五〜四名という高頻度
であること、乳酸アシドーシスを
起こせば半数が死亡することなど
から、世界中でその使用が中止さ
れるに至った。この薬が、このよ
うに批判される時期を迎えたのも
やはり医療の一般的な向上による
ものと思われる。

三、インスリン 使用法の進歩

インスリンを必要とするものの
一つに糖尿病昏睡、とくにケトア
シドーシスがある。最近、この治
療にインスリンの静脈内持続注入
法が導入され、少量のインスリンで
きわめて良好な成績を上げている。
インスリンがもっとも多く使用
されているのは若年型糖尿病であ
る。その一つである小児糖尿病は
わが国だけで三、〇〇〇名いと
想像される。大人まで加えると、
若年型糖尿病は恐らく数万名であ
り、これらでは一日もインスリン
注射を止めることができない。網
膜症などの合併症の予防には、発
病当初から低血糖を起すほど十
分量を使用すること、少なくとも
朝、夕二回注射を目標とすること
などが有効であることが判明して
いる。この注射は数十年にわたっ
て、一日の休みもなしに必要であ
るので、患者の十分な教育なしに
は困難である。

四、食事療法の重要性

食事療法をせずに薬剤にたよっ
た場合と、食事療法を基本におい
た場合とで、合併症の頻度が統計
的には明らかであり、後者がはる
かに優れている。経口剤の多くは、
食事療法の徹底により不要となる。
ただし、インスリンの正しい使
用も、食事療法も、その根底にな
る患者教育も、現在の医療報酬制
度ではきわめて困難であって、改
正が強く望まれる。

会員紹介

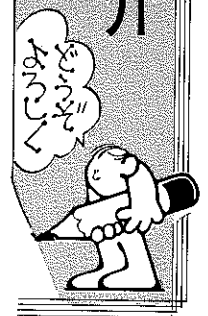
津島治雄先生

双三郡三和町大字敷名
大正十二年七月三十日生



岡山医科大学専門部、昭和二十年卒。海軍衛生学校（海軍軍医学校）最後の卒業生。岩国海軍病院、安浦海兵団と吉舎町の田中先生と終始一緒に勤務して終戦をむかえました。岡山医科大学北山内科教室へ入局。昭和二十二年、現在地で開業今日に至っています。

医師国家試験のなかった最後の組、軍隊生活を経験した最後のクラスです。
開業してからの三十年間は社会の変化も人間の精神の変化も激動の時代として歴史に残る期間と思えます。開業医としての生活も又変化の多い期間でした。
次第に増していく医療関係事務にはほとほと困っています。この上税制の社会保険の特別措置法がなくなればどんなことになるか、

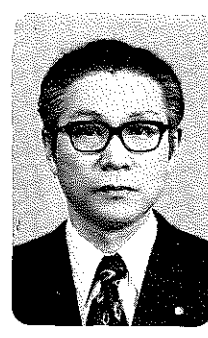


税金のことで税務署と渡り合うなんて全く嫌です。ね。
趣味としては最近ゴルフをはじめました。同好会の諸先生に御世話になっていきます。体力の低下防止とストレス解消にと暇を作って努めてゴルフ場へ通っています。

家族は妻と二男一女ですが、長男と長女は結婚して家庭を持ち、時々孫を見せに来る程度、次男も今春大学の予定ですが、引き続きき大学院の予定ですので、当分は二人だけの生活が続きます。

田中恭生先生

双三郡吉舎町大字吉舎
大正十三年五月十八日生



岡山医科大学専門部卒業。卒業後は約二か年母校へ在籍しましたが、その後広島鉄道病院内科へ勤務致しました。鉄道病院へ勤務三か年にして肺結核に罹患し、その後約七か年というものを療養生活

でプランクにしてしまいました。当時人工気胸術が流行していた時代で、私もお多分に洩れず人工気胸をしましたが、その代償として肋膜腔内に滲出液が溜溜し、膿胸を併発して思わぬ経過が長引き、その後は開発された化学療法で全治し現在に至っています。

療養中は、ひよっとすると治らないで死ぬかも知れないと思ったことが何度かありました。現在約五九疔ある体重も当時は四五疔と骨と皮ばかりの身体でした。どうせ死ぬならと、医学書は全く読まず、哲学書・文学書・芸術書、と手当り次第乱読しましたが、全くの乱読で、現在は全く頭の中に残っていないのは不思議なことです。やはり本気で読んでいなかったのかも知れません。当時はテレビもない時代ですので、そうでもしなければ一日一日がとてつもないものでした。主治医から勤務してもよいと言われてからは、七年間のプランクを取り戻すためには、余りにも医学が進歩して、古い医学書では全く役に立たず、皆に追いつくには私の頭ではどうにもならない位のギャップができていました。

それから吉舎で開業しましたが、初めの間は診療も午前中で、往診や夜間診療は全部断っていましたので、余り頼りにならない医者であつたようです。今は皆さんと同じように診療もし、酒も呑んでいます。七年前のギャップとそれに追いつかれない頭の悪さだけはどうにもならないものと諦めています。

永井又太郎先生

本籍地 岡山県邑久郡牛窓町牛窓
現住所 三次市三次町一七二〇
大正十三年六月十八日生



昭和23・3、岡山医大専門部卒業、昭23・4、昭24・3、岡大医学部付属病院にてインターン。昭24・5、第六回医師国家試験合格。昭24・6、岡大医学部産婦人科教室入局。昭24・11、同教室助手、昭26・7、日立造船因島病院産婦人科医長、昭27・8、岡大医学部産婦人科教室研究室専攻生、昭27・9、岡山県邑久郡邑久町立病院産婦人科医長、昭30・8、三次市三次町、森病院院長に赴任、昭32・1、現地にて永井産婦人科病院開業現在に至る。

私が入学した時は、一年先輩に吉舎の田中先生、三和町の津島先生がおられ、両先生共に昭和二十一年九月に卒業された。私は翌年三月には卒業できるものと思っていたら終戦（敗戦）となり、マッカーサー元帥の命令で専門部の卒業が二か年延長された。その為学資

新 広域合成ペニシリン

パセトシン[®]

カプセル 細粒

「日抗基」アモキシシリン製剤

薬価 ■125mgカプセル137.40 ■250mgカプセル268.00

■細粒1g 197.00

協和酸酵 特許許諾 英国ビーチャム社

健保適用

抗炎症・抗腫脹作用がすぐれている!

消炎酵素剤 **オプローゼSA**

- 手術後の浮腫
- 炎症症状の緩解
- 外傷による浮腫
- 炎症症状の緩解

カプセル	包装		薬価基準
	5mg	600, 1400カプセル	
10mg	600, 1400カプセル	1カプセル58.20	
小野薬品	顆粒1g中10mg含有	500g	1g 58.20

大阪・遠修可

は余計入用だったが、この二か年の卒業延期のお陰で、今迄の「詰め込み勉強」と異なり、もう一度基礎医学から回復してゆっくり勉強でき、殊に胎生学、局所解剖学、屍体解剖三体等は印象深く残っている。また臨床面でも、ポリクリ、臨床講義が多く実施され、得る所が大きかった。

徴兵検査は、体重不足で第一種合格だったが、医学生は入隊延期があり、軍隊生活は一切知らない。然し、岡山市の空襲や米空軍の機銃攻撃もあり、内地でも戦場同様の体験をした。昭和三十年四月、学位論文を全文英文で発表させられたのは閉口したが、大先輩森新太郎先生の留守番役として一年契約で森病院長に就任し、当時岡大、広大から皮膚科の先生も来診され多忙な毎日が続いた。

昭和三十一年五月、岡大医学部産婦人科教室同門会に出席の時、恩師故八木教授より森病院を買取り三次市で開業するようすすめられ、当時の県医師会長だった正岡旭先生に御相談した所、三次市開業を大賛成され、遂に当地で開業に踏み切った次第である。

今も故郷牛窓には、三代続いた家・屋敷もあり、三次開業については、亡親爺に大反対されたが、確かに見知らぬ旧い「まち」三次での開業は案ではなかった。「男子志を立てて、郷門を出ず」でもないが、兎も角も当時の地域住民に少しでもお役に立てばと思ひ、昭和三十三年一月より現在の病院を開設した。開業披露を環翠楼本店でした時、十日市町の岡崎利之

先生が、「あんた、三次でやるからやー三次の人間にならにやーいけんぞ」と申された言葉は忘れていない。爾来今日まで二十余年細々ながら病院を運営して来たが、次第に三次市を中心に友人、知人も多くなり、今ではすっかり三次の人間になり切った積りでいる。

趣味と言っても格別のものはないが、大体が「コリ性」で、ハミリ・カメラ・パイプ・マッチ箱の蒐集等やり、平々凡々の生活をしている。その間、昭和四十六年には胃潰瘍で吐血し、大手術を双三中央病院で受けたが、血清肝炎で余り無理もできず、また一昨年十一月には「本態性高血圧症」殊に眼底出血を併発し、二度迄棺桶に足を入れかけた。随分と生き運の強い人間と自分をズブズブしく思う事すらある。かつては当地区医師会の理事として、殊に巴杏の編集をさせて頂いた事が、少しも役立ち、御恩返しにでもなれば幸甚である。まだまだ人の親として息子の嫁取りや娘の嫁入りをさせねばならぬ大役が残っているので、今後毎日を大切に過ごして行く心算である。妻喜久子は太正十五年二月生まれで、毎日病院の帳簿や事務整理に追われ、更に調理師の免許をとって給食関係の仕事もあり大変だと思ふ。長男宣隆は、目下広大医学部六年生で、今は卒業試験の真最中だ。長女朋子は昨年第一薬大を卒業後薬剤師として、広島市在住の私の実姉高橋内科に勤務している。何はともあれ、命あつての物だね。今は私はすっかり元気になったが、健康な毎日が過ごせる程一番幸福な事はないと痛感する今日この頃である。

医師会だより
 (昭和五十三年十一月十三日(昭和五十三年一月二十五日))

- 12月13日 結核審査会
- 12月14日 双三地区補習講座
 演題「胆汁酸代謝とコレステロール胆石について」
 廣大医学部第一内科 梶山梧桐先生
- 12月15日 16時~18時 第12回センター職員との懇談会
 出席者 野村会長、鳴戸、高場副会長
 長船、箕岡理事
- 昭和52年度合同役員会
 於松月旅館 18時より
 出席者 野村会長、高場副会長、中村、長船、三浦、岡崎、谷岡、藤井、箕岡各理事、荒瀬議長、小川副議長、岸田監事
- 12月23日 結核審査会
 センター年末、年始休業
 (12月29日~1月3日)
 センター業務開始
 1月12日 結核審査会
 双三地区勉強会
 「救急医療—その問題点」
 司会 双三中央病院長 若本敦雄先生
 双三地区医師会長
- 12月25日 野村節也先生
 点数表改正に伴う社保担当理事連絡協議会
 於広島医師会館
 箕岡理事出席
- 1月26日 結核審査会
 1月27日 第15回(18号)巴杏編集委員会
 出席者 委員長 田中 恭生
 委員 藤谷 博義
 岡崎 邦之
 酒井龍之介
 谷岡 慶宣
 副会長 高場 賢治
- 1月28日 郡市地区医師会公衆衛生担当理事連絡協議会
 於広島医師会館
 三浦理事出席
- 2月10日 双三地区補習講座
 演題「糖尿病の診断と治療その①」
 講師 広島大学医学部第二内科 川手亮三先生
- 2月20日 結核審査会
- 2月24日 結核審査会
- 2月25日 市郡地区医師会学校医担当理事連絡協議会
 高場副会長、湯浅理事出席

鎮痛・解熱・消炎剤

インテパンSP
 《スパンスールカプセル》

製造発売元 住友化学 医薬事業部
 販売元 稲畑産業 医薬事業部

鎮痛・抗炎症剤

バンフランカプセル
 一般名=塩酸チノリジン (単位当り) ¥28.00

製造=吉富製薬株式会社
 販売=武田薬品工業株式会社

老後の私

三次市三次町一五九三
谷岡産婦人科医院 谷岡只雄

私には比較的早くから難聴が起り、患者との対話に不便を感じますので、止むを得ず、十余年前から、殆んど診療には携わって居ません。初めの間は大変気楽になり喜んで居ましたが、馴れるにつれて、物々無聊に苦しむ様に成りましたが、どうした事か、其の頃から「メニエル」氏症候が始まり、

而も漸次増悪するのを感じるに至りましたから、止むを得ず、内科医のお世話になる事にいたしました。話が一寸横道に入りますが其の頃親友のT君が腹部大動脈瘤のため大手術を受け、九死に一生を得、其の病後静養のため自分の医院を閉院して、毎日庭木の世話と囲碁で退屈を凌いで居ましたが、私と同様漸次体に変調が起るのに気付きましたので、聊か不安にかられて居た由ですが、丁度其の時期に姫路日赤病院から血液検査の手伝の依頼を受けたので、此れ幸い気晴しに幸都合だと思ひ直ちに承諾し、爾来永年続けて居る内に自然と体の調子が好転し始め、遂に現在では殆んど元通りに恢復した由です。そこでT君が私に、何かへ勤めて見よ、屹度好結果を得られるからと遙々姫路から、すめに来て呉れたのに感激し、では自分も何処かへ勤める事にしよう、早速県の成人病予防協会へ交渉してみた処、意外にも其れは願って貰えないこと、是非手伝いし

て呉れ、月二、三回で結構だからこの事であったから、私も喜んでお願いし、以後必要に応じて月数回子宮癌集団検診に行く事にしまして、爾来今日に及んで居ますが既に十年にも成りましようか？其の間度々他郡へも行き協会の方々と共に一生懸命頑張って居ります。知事からも表彰され、記念品まで頂戴いたしました。検診の無い時は読書は勿論、猫の額位の庭で花木いじりしたり又は彼の地、此の地と方々への旅行を楽しんで居ます。処が不思議にも検診に行く様になってからは責任感からの精神的緊張と、適度の運動が良かったのか、あれほど度々起っていた「メニエル」氏症状が漸次起らなくなり、従って自然と病感も消滅し、遂には全く健康恢復した事を自覚するに至りましたので親友T君に心から感謝して居る次第であります。抑も子宮癌集団検診なるものは専門の婦人科医の仕事としては、余りにも簡単な仕事（協会の「カルテ」へ内診所見記入と細胞診用に子宮頸管内及び腔内分泌物の塗抹標本作製）で、物足りなさを覚えます。

然し医師としての責任と義務のある事には無論変わりありませんが被検者とは直接談話する必要がありませんので（既に予診完了者のみを検診するので）難聴の私にも一向差支へありません。それに未

編集後記

二月十一日は建国記念日、そういう年齢が分るが吾々の時代は紀元節と言って学校へ行つて式をし、歌をうたつて紅白のおまんじゅうなどを貰つて帰つたものである。日本の建国が果して二月十一日であったか、どうかそんなことは全くせんさくしないで心から祝つたものである。

事が県の重要な社会福祉事業の一環と成つて居る事でありませう。その上これが自分の健康法にもつなげて居る事に気付いてからは、いよいよ自分は今後年齢は絶対に考えない事にきめ込み、そして体力の続く限り社会福祉の為、且又自己の健康保持のため、協会の此の事業に懸命に協力すべく決心致して居ます。今から八十六歳の今日までの生甲斐を喜びつつ楽しい毎日を送つて居る私であります。

知の地方へ出張しますから、気分



田中記

抗動脈硬化剤
抗キニン性・抗遅延型炎症反応因子性
血管透過性亢進阻止剤

ANGININ



アンチニン
ANGININ

BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD

消化器系鎮痛・鎮痙薬 Daipin[®]

上腹部痛に制酸剤の効果持続に...

ダイピン錠

一般名 N-メチルスコポラン-N-メチル硫酸塩 塩基当量 106

第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

CEBM社ロイヤル・フランス 13785